

一緒に考えませんか。これからのまちづくり

あんじょう協働のまちづくりフォーラム

安城市では町内福祉委員会等の「地縁組織」による高齢者等見守り活動や防災活動といった地域活動や、市民活動団体等の「志縁組織」の活動が活発に行われています。誰もが安心して暮らしていくために、これらの組織が協力・連携（＝協働）して活動することで、より大きな成果をあげることができるかもしれません。

身近な地域の協働事例に触れ、「地縁と志縁の協働」の必要性や重要性を共有、理解することを目的にフォーラムを開催します。

とき

8月28日(日) 午後1時30分～3時30分

開場：午後1時

ところ

安城市民会館 大会議室

入場無料

第1部 基調講演

協働のコミュニティづくり ～その必要性と効果～

いわさき やすのり 氏

(四日市大学総合政策学部教授)

第2部 身近な地域の協働事例報告&ディスカッション

- パネリスト
- ・若杉 わかすぎ 正敏さん まさとし (西別所町内会顧問)
- ・柴田 しばた 福枝さん ふくえ (民生・児童委員)
- ・吉崎 よしざき 久弥さん ひさや (学校法人さくら学園 グループホームじけい施設長)
- ・古濱利枝子さん ふるはまり えこ (NPO法人安城まちな学校事務局長)

●コーディネーター 岩崎恭典氏

主催 安城市(事業協力:安城市社会福祉協議会)

問い合わせ先 安城市役所 市民生活部 市民協働課 市民協働係

TEL:0566-71-2218 FAX:0566-72-3741

Eメール:kyodo@city.anjo.lg.jp

講師プロフィール

いわさき やすのり
岩崎 恭典 氏



【四日市大学総合政策学部 教授】

1956年、宇治市生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科修士課程終了。(財)地方行政システム研究所で、10数年間自治体コンサルタントとして働く。この間に、全都道府県の県庁所在市など約300の自治体を訪問し、日本の地域の多様性を実感する。また、千葉県我孫子市や東京で地方分権の具体的な進め方について、自治体職員と実践活動をしてきた。中央学院大学法学部助教授等を経て現職。三重県伊賀市の自治基本条例検討委員会委員長をはじめ全国各地の县市町の行政改革推進委員等を歴任。専門は、地方自治制度、市民参加論、住民参加論。

西別所町における協働事例

町内会とNPO、民間の福祉事業者の3者による “お互い様の助け合いまちづくり”

西別所町内会では、高齢者見守り活動の一環として、「NPO法人安城まちの学校」との協働による企画・運営で「しいの木サロン」を開催しています。

このサロンには、地域の高齢者だけでなく、町内の「認知症高齢者施設グループホームじけい」の入所者にも声掛けし、参加してもらっています。

このほかにも、町内会で開催する災害避難訓練の際には施設入所者に声掛けするなど、地域の施設と日常的なつながりを持って活動を展開するとともに、施設を運営する法人（学校法人さくら学園）とは、大災害発生時に西別所町の要援護者を一時的に施設で受け入れることなどを取り決めた「災害時における相互協力に関する覚書」を交わしています。



▲しいの木サロン（大人の七夕会の金魚づくり）



▲しいの木サロン（指の体操（脳トレ））